



3ヶ月間、チームで体験する

作って学ぶ クラウドネイティブ実践プログラム for Azure Kubernetes Service

スキルセット獲得×チームを育成

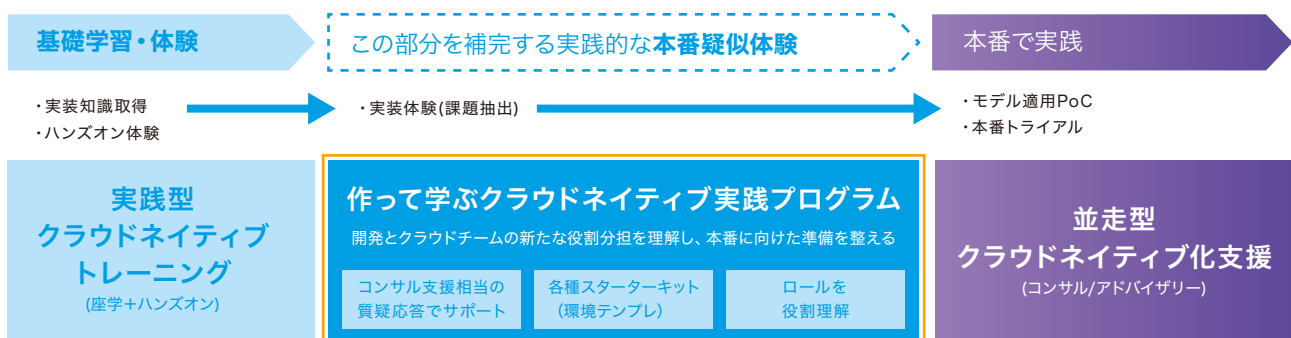
攻めのDXと言われる、ビジネスを高速にまわすためのDevOpsやMicroservicesアーキテクチャを実現させるためには、クラウドネイティブ技術の取得は今や必須となっています。一方で、エンジニアがそのスキルセットを獲得することは容易ではありません。

ビジネスを高速にまわすためのDevOpsやMicroservicesアーキテクチャを実現させるには、高速に開発フローを回すチームが必要です。そのため個でスキルを獲得するだけでなく、チームでスキル獲得する必要があります。

このプログラムは、Azure Kubernetes Service (以下AKS) をベースとし、受講者様が自らの手で考えながら実装して作っていくことをコンセプトにした、3ヶ月間のチーム型学習コンテンツです。

クラウドネイティブ実践プログラムのコンセプト

実プロジェクトでの「クラウドネイティブ」を実現するには、様々な技術を併用・かけ合わせる必要があるため、単一のスキル獲得ですぐに実践することはできません。基礎学習やハンズオンのトレーニングだけではスキルセットや経験が不足し、本番環境での実践には高いハードルがあります。



本プログラムは基礎トレーニングと実運用のギャップを埋めるために、本番での実運用を疑似体験するように設計されたプログラムです。

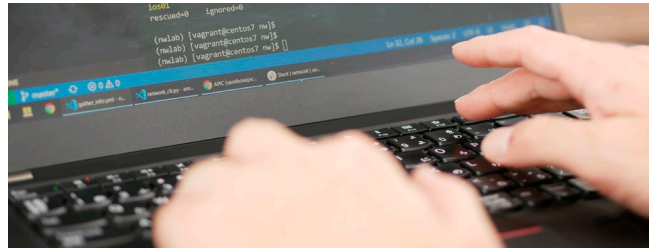
作って学ぶクラウドネイティブ実践プログラムの特徴

スキルセット獲得		チームを育成
圧倒的に確実に、早くスキルが身につく	モチベーションの維持とチーム全体のスキルの可視化	役割を理解しチームの一体感を醸成する
能動的カリキュラム	受講状況の可視化	ロールに応じたコンテンツ

圧倒的に確実に、早くスキルが身につく

能動的カリキュラム

カリキュラムは本格的な実践を想定し、出された課題に対し受講者自身で考えながら、実際に手を動かして実装を行い進めていくように設計・構成されています。能動的に課題に取り組んでいただく事が前提になりますが、座学ベースの受け身のトレーニングやお手本の手順を追っていくハンズオンより圧倒的に確実に、スキルが身につきます。



モチベーションの維持とチーム全体のスキルの可視化

受講状況の可視化



チームで受講することで、各々の受講状況や理解度、詰まったポイントなどが可視化できます。勉強におけるモチベーションの維持とチーム全体でのリスクリグ計画の参考にもなります。

役割を理解しチームの一体感を醸成する

ロール(役割)に応じたコンテンツ

	カリキュラム	開発	運用	管理
2week	Team Topologies briefing	◎	◎	◎
	Web アプリケーションの構築 (AKS/DB)	◎	○	
	TerraformによるIaC化		◎	○
2week	Ingress設計・設定 (Nginx Ingress / AGIC)	◎	○	
	ResourceGroup/マネージドID設計		○	◎
	アカウント設計とRBAC		○	◎
2week	Continuous Integration (ビルドパイプライン)	◎	○	
	Continuous Delivery (リリースパイプライン)	○	◎	
	IaC パイプライン (IaCパイプライン)	○	◎	
2week	ロギング・モニタリングの設定	○	◎	
	モニタリングダッシュボードの作成		◎	
	KeyVaultによる秘匿情報管理	◎	○	◎
2week	アプリケーションスケールング	○	◎	
	アプリケーションリリース	◎	○	
	クラスターアップグレード	○	◎	
2week	クラスターポリシー/セキュリティガイドライン		○	◎
	コスト最適化管理		○	◎
	Team Topologies debriefing	○	○	◎

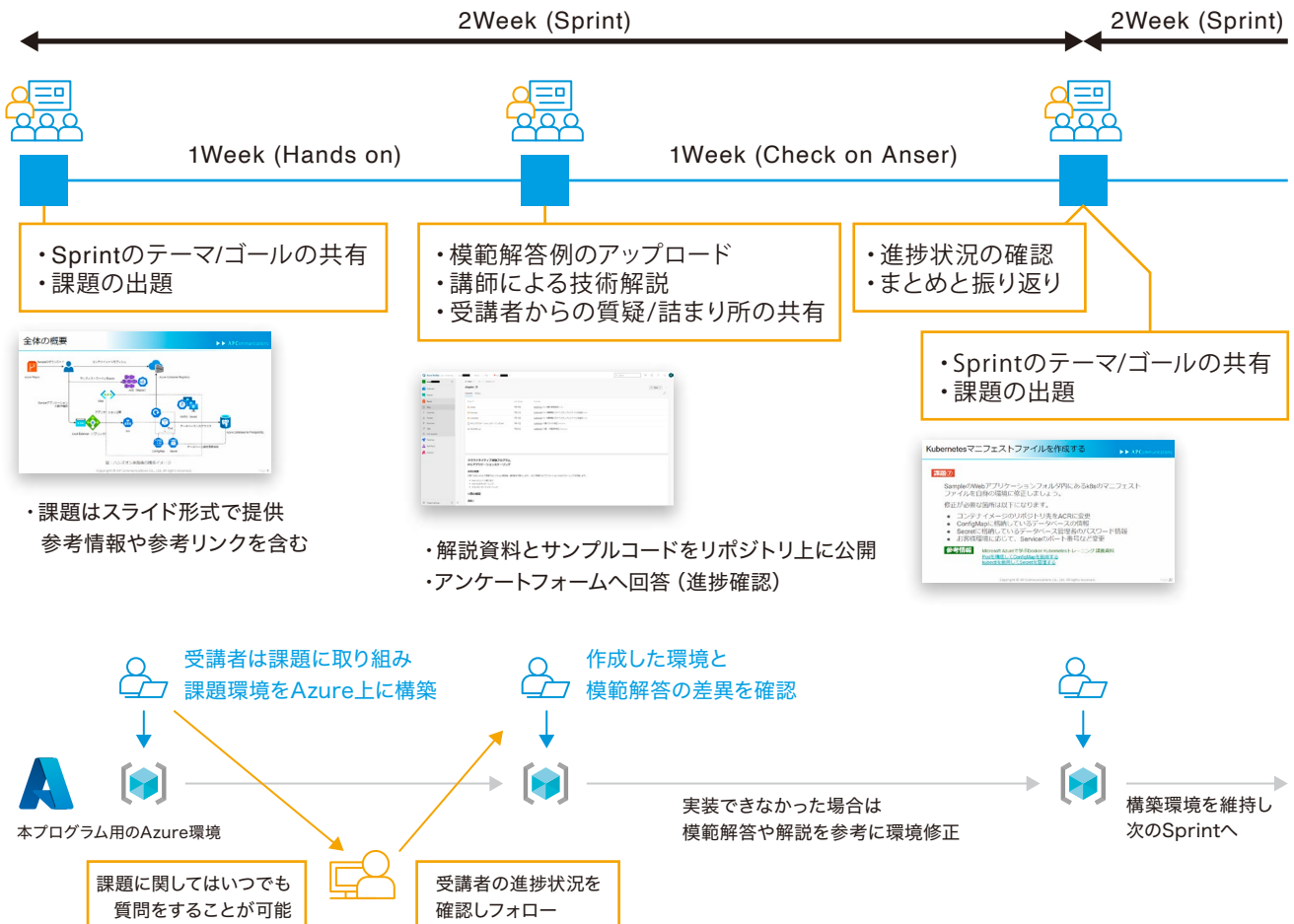
アプリケーション開発者、インフラストラクチャー運用者、セキュリティ/ガバナンス管理者の各視点に沿ってコンテンツを細分化しています。各個人が3つのロールのどれかを担当、または兼務して課題を実施します。チーム内のロールに沿ったコンテンツを重点的に受講できます。

AKSへのアプリケーションのデプロイから始まり、ベストプラクティスに従った構成要素を各コンテンツで学習していきます。プログラム中ではDevOpsの組織概念のモデルケースとしても著名なTeam Topologiesを活用することで、受講者チーム内の一体感を醸成していきます。

カリキュラムの内容は全てクラウドネイティブ人材として必要なものばかりなので、自身の担当するロール以外のコンテンツについても理解しておく事を強く推奨します。

プログラムのすすめかた

1スプリント (2週間) となり、週1回のミーティングで課題の出題と模範解答の提示、技術解説を行います。



- 3ヶ月に渡る長期の実践型コンテンツですので業務と並行して受講される場合は、業務時間の調整が必須となります。
- 体験プログラム専用のAzure環境の払い出しが可能です。利用料金はお客様負担になります。
- 実際にクラウドネイティブ業務を行っている現役のエンジニアがチケットベースで質疑応答を行います。実質的にコンサル支援相当の質疑対応になります。

有料オプション

- 復習のための技術解説動画の録画
- 受講者1人1人へ週1でのフォローMeeting

受講後のゴール・イメージ

- AKSのベストプラクティスに基づいたシステム構成を設計できる
 - Ingress・ネットワーク構成を理解し実装ができる
 - Azure Active Directoryと連携したAKSの認証/認可の仕組みを理解し実装できる
 - Azure DevOpsを使ったAKSアプリケーションのパイプラインを実装できる
 - Terraformを使ったAKSシステムのコード化とパイプライン実装ができる
 - Azure Monitorと連携したAKSの監視の仕組みを理解し実装できる
 - Azure Key Vaultと連携したSecret管理を実装できる
 - Kubernetesのスケールアウト・リリース手法・アップグレード方法について理解し実装・設計ができる
 - Azure Policy、Microsoft Defender for Cloudと連携したAKSのセキュリティ対策を理解し実装できる
- AKSによるシステム開発と運用をチームで自走できる
- Team Topologiesによる組織論を学び、チームでの開発体験に活かせる

提供環境

人数	1チーム (4名~10名程度を推奨) 最大受講者数 2チームまで
開催場所	オンライン開催
費用	3,600,000円~ / チーム ※Microsoft Azureの利用料金と各種オプションは別途請求いたします。
期間	約3ヶ月間 ※短期での受講をご希望の方はご相談下さい。
前提条件	Microsoft Azureで学ぶDocker Kubernetesトレーニング Terraformで学ぶIaC入門 for Microsoft Azure を事前に受講している または、上記に相当する知識を有する方
必要なもの	インターネット・PCなどの受講環境をご用意下さい。(Mac/Win可) 一部のコンテンツで開発用のツール類をインストールする必要があります。 オンラインミーティングではZoomを利用しますので事前にインストールが必要です。



*エーピーコミュニケーションズはMicrosoft Partner Networkにおいてソリューションパートナーとして認定されています。

講座詳細やその他のトレーニングについてはWebサイトをご確認ください。
<https://www.ap-com.co.jp/cloudnative/training/>

【お問合せ先】株式会社エーピーコミュニケーションズ ACSG <https://www.ap-com.co.jp/cloudnative/training/>